

令和2年度  
特別展「埼玉記念物100年」  
展示解説リーフレット

# 埼玉

おすすめ 動植物編  
天然記念物MAP

～埼玉の自然環境を知る～

### 訪問上の注意

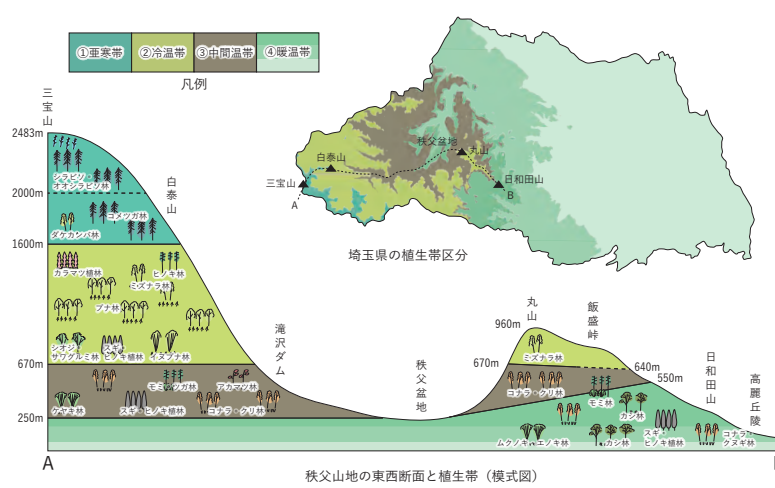
- このマップの掲載内容は、自然災害や管理上の理由などで変更となっている場合があります。訪問前に情報収集をお願いします。
- 自然観察には様々な危険が伴います。落石・増水・滑落、有毒な動植物、熱中症などに、十分ご注意ください。
- 天然記念物の現状を変更する行為や、保存に影響を及ぼす行為は、法律・条例で禁止されています。
- 天然記念物は所有者・管理者や地域の方々のおかげで守られています。気配りを忘れず、マナーを守った見学をお願いします。

★ マップ中に  
写真を掲載した場所

## ⑤特殊立地・人の暮らしと関わりの深い自然

標高や気候に対応した①～④の植生以外にも、点在する石灰岩地、長瀬のような川沿いの岩壁、台地辺縁の段丘崖や湧水、大河川がつくり出す氾濫原や礫河原など、地質・地形や攪乱の度合いに応じて様々な植生が成立しています。また、人々が生活のために続けてきた樹木の伐採、草地の刈り取りや火入れ、水路や池沼の管理、耕作などによって維持されてきた、人の暮らしと関わりの深い二次的な自然も各地に残されています。

- 岩場 二子山の石灰岩地植生(小鹿野町) 長瀬岩壁(長瀬町)  
湿地 宝蔵寺沼ムジナモ自生地(羽生市) オニバス自生地(加須市)  
内池の水生物(久喜市) 秋ヶ瀬のハンノキ林(さいたま市) など  
草地 田島ヶ原サクラソウ自生地(さいたま市)  
裏山山頂の草地(皆野町) 大麻生の礫河原(熊谷市) など  
二次林等 平林寺境内林(新座市)  
岩殿丘陵のアカマツ林(東松山市・鳩山町) 妙音沢の春植物群落(新座市)  
武蔵野台地の雑木林(三芳町ほか) など



## 【埼玉の自然環境】 植生関連の天然記念物を見わたすと、埼玉の自然環境の全体像を理解することができます。

### ①亜寒帯(亜高山) 標高1600m以上

コマツガなどの亜寒帯常緑針葉樹林が中心となる植生帯で、奥秩父の標高1600m以上に分布します。大部分が国有林であり、秩父多摩甲斐国立公園の指定範囲に含まれています。

ここで見られる 十文字峠のコメツガ原生林(秩父市) 雁坂峠のミヤコザサ草原(秩父市) 甲武信ヶ岳や雲取山の針葉樹林(秩父市) など

### ②冷温帯(山地上部) 北部 標高670m～1600m 南部 標高640m～1600m

ブナやミズナラなどの夏緑広葉樹林が中心となる植生帯で、秩父山地に広く分布しています。古くから木材の伐り出しや炭焼きが行われ、植林も行われてきました。自然度の高い林は、国有林・県有林や東京大学秩父演習林などに残されています。

大山沢のシオジ林(秩父市) 浦山のフクジュソウ群落(秩父市) 三峰のブナ(秩父市) 横峠のブナ(ときわ町・飯能市) 金沢沢の大カツラ(秩父市) 不動滝のトチノキ(秩父市) など

### ③中間温帯(山地下部) 北部 標高250m～670m 南部 標高550m～640m

内陸に位置する埼玉県には、降水量の少なさと人為の影響などにより、冷温帯のブナも暖温帯のカシ類もあまり分布しない「すき間」の植生帯が成立します。秩父盆地周辺の低山がこれにあたり、コナラ・クリなどの夏緑広葉樹林、モミ・ツガなどの常緑針葉樹林など、多様な植生が成立します。

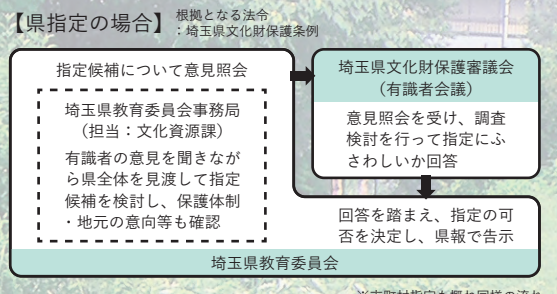
裏山のコナラ林(皆野町・秩父市) 廣見寺のモミ(秩父市) 瑞岩寺山のツツジ(秩父市) など

### ④暖温帯(山地下部、丘陵・台地、低地) 北部 標高250m以下 南部 標高550m以下

カシ類やスダジイなどの照葉樹林が成立する植生帯で、低山から平野部の大部分がこれに当たります。古くから人為の影響が大きく、照葉樹林にはならず様々な土地利用が行われてきました。わずかに県西部地域の低山や平野部の社寺林などで、自然度の高い林を見ることが出来ます。

南川のウラジロガシ林(飯能市) 桂木のタブノキ林(毛呂山町) 氷川女體神社(さいたま市) 姥塚(アカガシ)(ときわ町) など

### 誰がどうやって指定しているの?



### 【国指定の場合】 根拠となる法令：文化財保護法

文化庁を中心に指定候補の検討が進められ、文部科学大臣が文化審議会に意見照会。これを受けて調査検討が行われ、回答を受けて文部科学大臣が指定(官報告示)。

## 【埼玉の動植物】 動植物の天然記念物に注目すると、埼玉の希少種を取り巻く現状が見えてきます。

**山** ニホンカモシカ (種指定) ちチブイワザクラ (生育地)

ちチブイワザクラは、武甲山にだけ生育する石灰岩地特有の植物です。武甲山の山中には「石灰岩地特殊植物群落」として天然記念物に指定されている場所があり(鉱区のため見学不可)、地元自治体や鉱山会社により、本種やミヤマスカシユリなど代表的な種の系統保存や緑化が続けられています。

県内ではもともと険しい山に多いですが、近年は人里での目撃が増えています。全国に13の保護地域が設定されて文化庁の主導により生息環境・生息状況の調査が続けられ、種の保護と農林業被害防止との両立が図られています。

**里** シラコバト (種指定) ステゴビル (生育地)

やや湿り気のある草地や落葉樹林下に生育し、県内では秩父市、坂戸市などに生育地があります。人里の草地の生育地では、適度な草刈りの継続が生育に欠かせません。

鷹狩りの獲物として持ち込まれたものが定着したと考えられています。水田が広がり屋敷林が点在する田園風景の中で見ることができ、郷土の鳥として指定されました。現在は都市化の進行や餌を得ていた畜舎の減少などにより少なくなっています。

日本で最初に指定された天然記念物の一つ 「田島ヶ原サクラソウ自生地」 大正9年(1920)指定

今からおよそ100年前、東京帝国大学教授で植物学者の三好学は学術的な観点から近代化に伴う樹木・樹林や希少植物の衰退を訴え、その保護の仕組みづくりに奔走しました。三好の調査を経て第1号の指定となったサクラソウ自生地は、単に美しいサクラソウだけを守ろうとしたものではありません。根底には、文化的側面や学術研究の素材としての価値も踏まえ、他の植物と一体的に荒川沿いの原風景を後世に残そうという考え方がありました。天然記念物保護制度誕生当時の崇高な理念をうかがい知ることができます。

櫻草原野の植物 三好学『人生植物学』(1918)より

## 【人と自然との関わり】 暮らしとともに残されてきた天然記念物を紐解くと、人と自然との共生の歴史が見えてきます。

**国天** 宝蔵寺沼ムジナモ自生地(羽生市) 湿地に水路を掘り、その泥を積みあげて耕作した「掘り上げ田」でした。結果的に国内最後のムジナモ自生地になりました。

様々な生物がバランスよく生きられる環境を目指し、植生や底質の管理、捕食動物の個体数管理などが行われています。

さでかき **バランスを守る**

**県天** 元荒川ムサトミヨ自生地(熊谷市) ムサトミヨはかつて湧水の多い地域の水田や水路にたくさん生息していましたが、現在は元荒川に残るのみになりました。

下流部のヨシ刈り **刈って守る**

源流部では地下水の汲み上げが続けられ、地元の方々を中心にヨシ刈りや水草の保護といった環境整備が行われています。

**国天** 平林寺境内林(新座市) 雑木の修場の場として残された、武蔵野の面影の残る境内林。雑木林では、伐採と萌芽を繰り返して木材が利用され、下草刈りや落ち葉掃きが行われ、明るい環境が維持されてきました。

伐採再生事業 **伐って守る**

一度伐採し、雑木林の再生を図るプロジェクトが進んでいます。

**国特天** 田島ヶ原サクラソウ自生地(さいたま市) サクラソウの生育する氾濫原のヨシ原は、飼料や屋根材を採るために欠かせない場所であり、刈り取りや火入れによって草地環境が維持されてきました。

火入れ **焼いて守る**

毎年1月に火入れが行われます。競合種の除去や、乾燥化対策の検討などが続けられています。

人間活動との関わりの中で成立してきた二次的な自然環境には、そのような場所であるからこそ生き残ることができた様々な動植物があります。その保全には、継続的に人の手を加えることが必要です。ぜひ天然記念物の保全活動にも目を向け、機会があれば参加してみてください。

### 指定されるとどうなるの?

- 人類共有の財産として認められ、所有者だけでなく地域住民、地元教育委員会、専門家などが力をあわせて守っていく存在になります。
- 「現状を変更する行為」や「保存に影響を及ぼす行為」を自由にできなくなります。事前に協議し、保存上問題のない内容であれば、許可を受けて実施できます。
- 保存のための措置に、専門的助言や補助金を受けられるようになります。

### 何のために守るの?

天然記念物は、地域の自然の成り立ちや仕組みを読み解く上でカギとなる存在です。これを保護することは、単に重要な自然を守るだけでなく、地域の自然を理解する上で欠かせない素材を後世に伝えることを意味します。また、人と自然との関係性を維持し、自然との関わりの中で培われた地域の文化を守ることにもつながります。





### 1 十文字峠のコメツガ原生林 (秩父市中津川) 亜寒帯



【アクセス等】  
毛水平(長野県川上村)から徒歩約2時間。登山経験者、健脚向き。十文字小屋や甲武信小屋に1泊して、シラビソ・オオシラビソの観察できる三宝山や甲武信ヶ岳と組み合わせても。



アズマシクナゲ

十文字峠(標高約1970m)周辺には、「秩父の原生林」とも呼ばれるコメツガを主体とする常緑針葉樹林が広がっています。林床を一面コケに覆われた場所や、5月下旬から6月上旬にかけて林内にアズマシクナゲが美しく咲く場所もあります。

### 7 二子山の石灰岩地植生 (小鹿野町河原沢・藤倉) 岩場



【アクセス等】  
又時に車を止め、西岳山頂まで「一般ルート」で約45分。山頂部はやせ尾根になっており注意が必要。西岳の「上級ルート」や東岳は、危険な場所があり推奨しない。



イワシモツケ

石灰岩の採掘が行われていない二子山では、石灰岩地の特徴的な地形や植物を見ることが出来ます。又時から少し下りたロック岩の下ではキンモウラビなど、西岳山頂付近ではチブミネバリやイワシモツケなどが観察できます。

### 8 長瀬岩畳 (長瀬町長瀬) 岩場



【アクセス等】  
秩父鉄道長瀬駅から岩畳までは徒歩約10分。車の場合は、周辺の有料駐車場を利用。上長瀬駅から博物館に立ち寄りて開花情報などを収集し、岩畳を経て長瀬駅に向かうのもおすすめです。



ユキヤナギ

岩畳のユキヤナギ、水辺のシランやミノハギ、草地のウツボグサ、岩畳上のフジなど、多様な環境に生育する植物を四季折々楽しむことができます。野生のユキヤナギが見られるのは頻りに増水の影響を受ける岩畳に限られ、全国的にも珍しい群生地です(花期:3月下旬~4月頃)。

### 9 宝蔵寺沼ムジナモ自生地 (羽生市三田ヶ谷) 湿地



【アクセス等】  
東武鉄道・秩父鉄道羽生駅から羽生市福祉バス(平日のみ)、無料直通バス(特定の土日祝日のみ)又はタクシーで約15分。車の場合、羽生ICから約5分。羽生水郷公園の駐車場を利用できる。



真夏の暑い時間帯に咲くムジナモの花

かつて掘り上げ田として作られた縦横に広がる水路の様子を、展望台から見学することができます。自生地内への立ち入りはできませんが、隣接する羽生水郷公園にいたま水族館で、栽培されている生きたムジナモを間近で観察することができます。

### 2 三峰のブナ (秩父市三峰・大滝) 冷温帯



【アクセス等】  
三峰ビジターセンターから妙ヶ岳までは約1時間。そこからお清平まで約1.5時間。危険な場所や迷いやすい場所はほとんどないが、登山の装備や地図は必須。



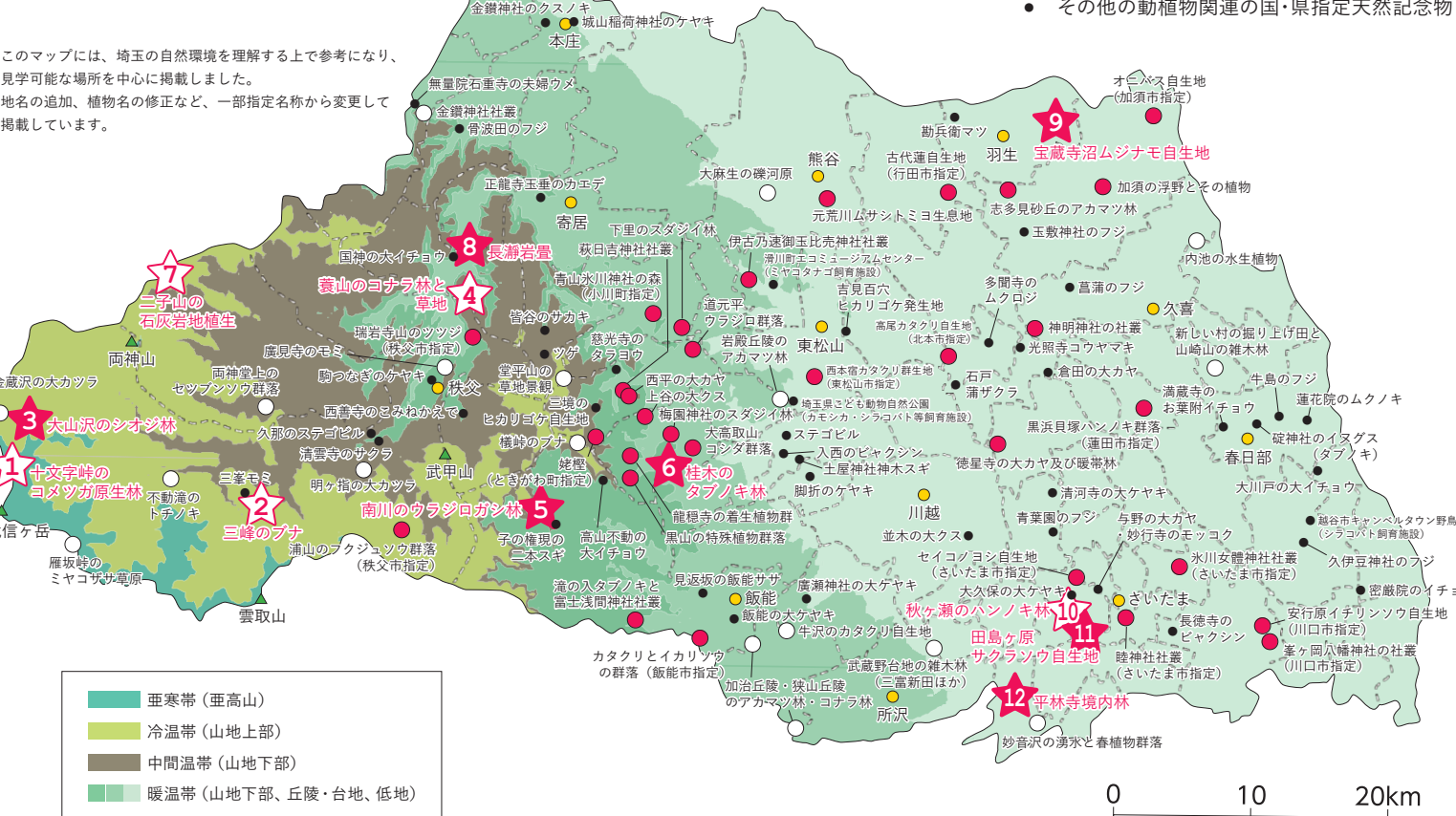
炭燻跡

三峰神社奥宮のある妙ヶ岳入口にはブナの大木があり、さらに霧ヶ峰峰を経てお清平付近まで歩くと、冷温帯を代表する夏緑広葉樹林であるブナ林・ミズナラ林を見ることができます。様々なカエドも観察でき、途中の炭燻平には炭焼きに使用された窯の跡も残されています。

### 埼玉おすすめ天然記念物等マップ 動植物編

これらの天然記念物等を訪ねると、埼玉の自然環境の全体像を理解することができます。植生帯(■ 亜寒帯 ■ 冷温帯 ■ 中間温帯 ■ 暖温帯)や ■ 特殊土地・人の暮らしと関わり深い自然についての解説は、裏面をご覧ください。

※このマップには、埼玉の自然環境を理解する上で参考になり、見学可能な場所を中心に掲載しました。  
※地名の追加、植物名の修正など、一部指定名称から変更して掲載しています。



0 10 20km

■ 亜寒帯(亜高山)  
■ 冷温帯(山地上部)  
■ 中間温帯(山地下部)  
■ 暖温帯(山地下部、丘陵・台地、低地)

★ このページで紹介した天然記念物  
☆ このページで紹介した未指定の重要な場所  
● 埼玉の自然環境が学べる天然記念物  
○ 埼玉の自然環境が学べる未指定の重要な場所  
● その他の動植物関連の国・県指定天然記念物

### 10 秋ヶ瀬のハンノキ林 (さいたま市桜区上大久保・下大久保) 湿地



【アクセス等】  
JR浦和駅西口から「大久保浄水場」行きバスで「下大久保」下車、徒歩約15分。車の場合、秋ヶ瀬公園「ピクニックの森」周辺駐車場利用。



ミドリシジミ

秋ヶ瀬公園のピクニックの森では、荒川の氾濫原に成立する代表的な温性林であるハンノキ林を見ることができます。林内ではゴマギやチョウジソウなどの特徴的な植物を見ることができ、ハンノキを食樹としている県の蝶ミドリシジミも生息しています。

### 3 大山沢のシオジ林 (秩父市中津川) 冷温帯



【アクセス等】  
彩の国ふれあいの森「森林科学館」から林道を約6km、さらに徒歩で約2.5時間。登山経験者、健脚向き。時折開催されているガイドツアーに参加するのもおすすめ。



シオジ

中津川県有林「原生の森」の大山沢上流には、全国でも有数の規模のシオジ林があり、太平洋側の冷温帯を代表する渓谷林として知られています。シオジ(モクセイ科トネリコ属)は栃木県以西の太平洋側に断続的に分布し、秩父は代表的な生育地の一つです。

### 5 南川のウラジロガシ林 (飯能市南川) 暖温帯



【アクセス等】  
西武鉄道西吾野駅から車道を歩いて約1時間。車の場合、駐車スペースがほとんどないため、手前の安全な場所に止めて歩いてアプローチする。冷温帯まで一気に登る伊豆ヶ岳登山との組み合わせもおすすめ。



ウラジロガシの葉と堅果

伊豆ヶ岳南東の谷あいにある大山祇神社の社叢で、ウラジロガシやツクバネガシなどの群落になっています。面積は広くありませんが、暖温帯の植生の中でもやや内陸部に成立する、カン類を主体とした照葉樹林の片鱗をうかがい知ることができる、県内では数少ない場所です。

### 6 桂木のタブノキ林 (毛呂山町滝ノ入) 暖温帯



【アクセス等】  
JR毛呂駅から徒歩約50分。車の場合、桂木観音前に駐車スペースがあり、そこからは徒歩約5分。ほど近い大高取山周辺では、暖地性のシダ(コシダ・ウラジロ)なども観察できる。



ヤブツバキ

桂木集落の民家裏の急斜面に、県内では珍しいタブノキの群落を見ることができます。暖温帯の照葉樹林の中でも沿岸部に多いタブノキ林の事例として、県内では貴重です。タブノキ以外にも、ヤブツバキ、モチノキ、シロタマなど、暖温帯に分布の中心をもつ種が数多く生育します。

### 12 平林寺境内林 (新座市野火止) 二次林



【アクセス等】  
東武鉄道志木駅からひばりヶ丘駅行き、朝霞台駅から東久留米駅行きバスなどで「平林寺」下車、徒歩3分。車の場合は近隣の有料駐車場利用。見学の際は修行の妨げにならないよう配慮を。



野火止用水

広大な境内林の中に、かつて人々が利用することで維持されてきたコナラやクスギなどの雑木林や、現在では少なくなったアカマツ林を見ることができます。野火止用水から分水した平林寺堰や、歴史ある建造物なども見所です。周辺に、野火止用水沿いの散策コースなどもあります。

### 4 叢山のコナラ林 (皆野町皆野・三沢・秩父市黒谷) 中間温帯



【アクセス等】  
秩父鉄道親泉駅・和銅黒谷駅などからハイキングコースが整う。駅から山頂まで約1.5~2時間。山頂は美の山公園として整備され、車でもアクセスできる。駐車場あり。



山頂に残る草地

山麓の聖神社などではアラカシやシラカシを見ることができますが、少し登ると大部分がコナラ・クリなどの明るい夏緑広葉樹林になります。尾根や岩場にはアカマツやモミなどが生育します。山頂部には、かつての土地利用の名残である貴重な草地が残されています。